

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2011年4月～2012年3月

国名：日本

※今年度の年次報告書は担当者の名前やメールアドレスなどは伏せた形で冊子やHP上で公表する可能性があります。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 担当者

—

2. 学校概要

学校名 奈良女子大学附属中等教育学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒630 - 8302

奈良市東紀寺町 50-25

E-mail : _____

Website : <http://www.nara-wu.ac.jp/fuchuko/>

児童生徒数：男子 354 名 女子 387 名 合計 741 名

児童・生徒の年齢 13 歳～ 18 歳

3. 実施活動（下記から選択し、ESDについては活動した分野に○をして下さい。）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
 持続発展教育 (ESD) (国際理解 世界遺産 平和・人権 環境 気候変動
 生物多様性 エネルギー 防災 食育 伝統文化 その他 ()
 そのほか ()

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

A. 海外交流

①日本・韓国・フィリピンのユネスコスクール 4校による国際交流プログラム（「YES for ESD 2011」）の実施。

アジアのASPネットワークをもとに本校独自で成立させた国際交流プログラム（「YES for ESD」）を昨年度より実施している。フィリピンのカラパン市のThe City College of Galapanを会場として、ESDに関わるテーマ（今年度は「森林保護」「平和」）を多様な国籍と価値観を持つ生徒たちが、国際会議の場でディスカッションし、提言をまとめることをめざしたプロジェクトとして実施している。（本校生徒6名、教員2名が参加） 【別紙資料1】

②本校5年生（高校2年）修学旅行での釜山国際高校（ユネスコスクール）訪問

1. 日時：2011年5月30日（月） 16:00 - 19:30

2. 訪問団：生徒118名、先生方9名様、その他：3名様

3. 交流内容

16:00-16:20 両校代表の挨拶・両校の紹介 16:20-17:10 両校の文化交流

17:20-18:20 グループ別文化交流

（「震災」「日韓関係」「音楽」「スポーツ」「伝統」などテーマに）

18:20-19:30 グループ別に分かれて食事・お土産交換・終了

③釜山国際高校主催の高校生によるGlobal Forumへの本校生の参加

1. 主催：釜山国際高校（韓国）＝ユネスコスクール

2. 日程：2011年11月1～3日 3. 開催地：釜山国際高校（韓国・釜山）

4. 参加予定校（国）：本校以外

(1) Busan International High School (BIHS) (韓国)

(2) Henan Shifan Daxue Fushu Zhongxue (中国)

(3) BIHS exchange students (スウェーデン)

5. 参加人数：生徒4名＋引率教員2名 6. 宿泊先：釜山国際高校内 学生寮

7. テーマ： Case studies, presentations, and discussions about the environmental crisis in each country, their government's response and the school's educational research on the actual condition

③ユネスコスクール釜山国際高校との姉妹校提携【別紙資料2】

今後は国際交流プログラムだけでなく、長期交換留学プログラムや学校訪問、教員研修プログラムの実施へと広げていく上で、姉妹校提携が必要と判断した。

B. 世界遺産学習、持続発展教育の推進（総合学習） 【別紙資料3】

WHE、ESDを軸とした新総合カリキュラムを構築、今年度すべて実施した。

【1年】探究・奈良Ⅰ

【2年】探究・奈良Ⅱ

【3年】探究・世界Ⅰ

【4年】探究・世界Ⅱ

奈良の世界遺産・歴史遺産を学ぶ学習

環境、異文化理解、健康などESD各領域に関する学習

活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用 ユネスコクラブの活動として実施
- その他（希望生徒への研修旅行として、実施）

今年度の活動結果について（下記から選択して下さい。）

- 大変効果的な活動ができ、大変満足。 効果的な活動ができ、満足。
- 効果的な活動ができず、やや不満が残る。

どのように活動を学校のプログラムに盛込んだか記載願います。

- ・世界遺産教育、持続発展教育を軸とした総合学習プログラムを、情報教育プログラムと関連させたカリキュラムを構築し、実施している。
- ・今年度は、1年～4年まで総合学習プログラムが完成した。そのプログラムの内容と国際交流プロジェクト「YES for ESD」の内容のリンクをはかり、総合で学習したESDやWHEの内容や方法を他文化圏の生徒と討議することにより、より深めるように勧めている。また一部生徒のみの学習にならないように、国際交流プロジェクト参加生徒がその報告を全校生徒の前でプレゼンするなど、成果の学校全体への波及を進めた。
- ・本校での様々な国際交流プログラムが有機的に連関できるように、全体像の整理作業を進めて、職員会議で報告して、共通理解を図った。【添付資料4】

今までの活動の中で、教育の質の向上に効果のあった活動がありましたら、記載願います。

- ・フィリピンでのYES for ESD 2011も今年で実施2年目となった。特に今年は3月に東日本大震災がおこり、様々な意味でいままでの価値観や社会のあり方に対して再考する必要性にせまられた年であったこともあり、高校生の国際会議でもこのことが大きな話題となった。特に、本校生による「平和」のプレゼンでは、「戦争」に対する対語にとどまらず、震災とその後の人々の努力を、「平穏」という言葉をキーワードとしてとらえていく報告がなされ、他国の生徒の大きな感銘を呼んだ。また、途上国での開催は、日本の生徒たちに、自分たちの「幸せ」の意味を捉えなおす大きな機会となっている。現在も、参加生徒により全校集会での報告など広げる機会を設けてはいるが、さらに総合学習を始めとした様々な機会を通じて、成果を全校へ広げる取り組みを行いたい。

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。

- 紙媒体の参考資料（新聞、出版物など） CD-ROM 写真
- その他（ ）

以下につきましては、該当する取組を実施した場合のみ
記載をお願いします。

- 実施テーマにおける教材の工夫や授業手法における工夫。
 - ・FW（フィールドワーク）や参加体験型教材などを積極的に導入した生徒が主体的に学べる学習教材の開発
 - ・教員の専門性を生かした年間担当計画の作成

- 実施テーマに関連した研究旅行の実施。
 - ・フィリピンのユネスコスクールへの国際交流プログラム（YES for ESD 2011）

- 他国の学校との交流や相互協力の実施。（交流した国、学校名の記載もお願いします。特に相手校が ASP ネットワークに参加している場合は、その旨も記載願います。）
 - ・同上
 - 参加校（釜山国際高校、City College of Calapan）は、いずれもユネスコスクール

- 国連やユネスコが取り組む国際的な記念日、国際年、国際的な10年を記念する取組の実施。（国際母語の日、国際天文年、識字の10年など）
特になし